

監修のことば

本書は、研修医向けの月刊誌「レジデントノート」で連載されている「みんなで解決！病棟のギモン（略して「みんギモ）」をアップデートし、単行本としてまとめたものです。

その「みんギモ」はそもそも慶應義塾大学病院で行われている内科研修医向けのカンファレンス（2×2カンファ）での議論をベースにして作成されたものです。この2×2カンファの由来や詳細は次ページからの吉野先生の稿にゆずりますが、主に① 大学病院で**研修医（1～3年め）の実力が過小評価され**、さらに② **せっかく上級医（5～10年め）になっても教育の場で活躍する舞台が少ない**、という背景から立案・実施されたものです。

最初は内科学教室のシニアスタッフならびに卒後臨床研修センターによって運営・実施されてきました。しかしすぐに②でターゲットとされた上級医自身が企画に関わるようになってくれ、研修医の先生方もそれに伴いより積極的に参加してくれるようになりました。

気がつけば連載は4年間続き、2×2カンファで取り上げたトピック（おそらく200を超えていると思います）で単行本を作成することができるまでになり、非常に感慨深いです。

これまで私はいろいろと医学教育の企画や教科書の作成に関わってきましたが、このプロジェクトは自分の手からどんどんと離れ、高く羽ばたいていったところが印象的です。現在はもうオリジナルメンバーの年代が中心になって運営してくれています。なかでも吉野君と宇野君の2名は、本業でも忙しいなか、この事業に特に力を尽くしてくれました。

本単行本の内容が、医学的に皆様のお役に立つことを祈願するとともに、実際に研修医と指導医がともに成長していっている様子が少しでも紙面を通じて伝われば幸いです。

2020年1月吉日

慶應義塾大学医学部循環器内科
香坂 俊